

3-2期末

11/7 日本の気象と森林

○気温

①緯度差が大きい

南方で気候差大きい（亜熱帯～亜寒帯）

②夏と冬で気温差（年確差）が大きい

冬→大陸から寒気

夏→太平洋からの暖かく湿った空気

・降水量 日本の年間降水量 1700mm 世界 750～1000

瀬戸内 900～1000

太平洋沿岸 2400以上 梅雨、台風

日本海沿岸 2400以上 降雪

○積雪

✕成長期間が短くなる

○保温効果

ブナ 多雪地帯に多い

雪圧に耐える幹

耐陰性が高い

多雪条件に適応

低木・ほふく型

ヤブツバキ→ユキツバキ

ユズリハ→エゾユズリハ

雪に埋もれて冬を越す。

スギ林造林上のメリット

・雪解け水により水分条件良くする。

・幼齢期に雪に埋まる＝冷害の回避

前回の続きから～

11/21 (木)

○積雪

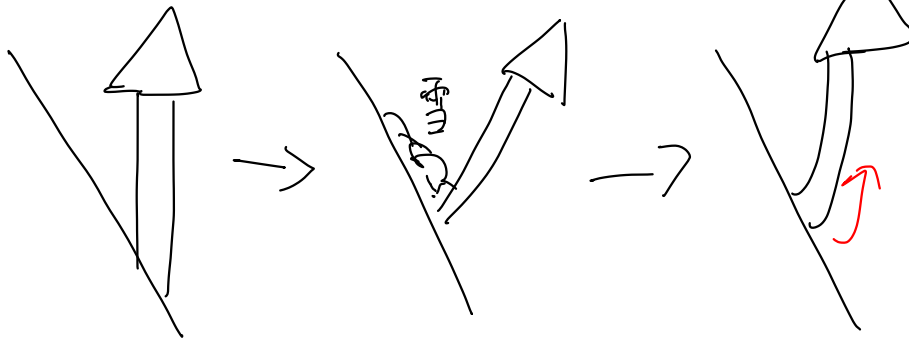
スギ造林上のメリット

春の乾燥時に雪解け水＝水分良好

幼齢木が雪に埋まる＝凍害寒風の回避

デメリット

雪圧による**根本曲がり**



伏条更新

ヒノキ **漏脂病**にかかりやすい＝多雪地では造林されない

○風

おだやかな風

花粉や種子の飛散量

材木の飛散が活発＝成長促進

強風

新芽の損傷＝成長阻害、樹形の変化

防風

倒木（根返り）、幹折れ

教科書P46～47 (図) を見ておく どこにどんな林が生えてるか、**水平分布**